



ロジテック通信

福岡ロジテック株式会社
～発行担当～
永山祐資
鶴川健友

無事故を目指して学びの時間

安全セミナーを開催しました

3月30日(土)に上西先生をお招きして安全セミナーを開催しました。今回は日常点検の不備が招く事故やこの季節に起こりやすい事故についての解説などが行われ、屋外実習ではタイヤナットの点検要領が実演されました。セミナーの冒頭では2024年4月から適用される改善基準告示の根本的な目的のひとつが過労運転とそれに伴う事故の防止であることが説明され、全員が当事者として取り組んでいくことの重要性を再確認しました。



①日常点検を確実に

日常点検に関わる事故等を未然に防ぎましょう

●タイヤの脱落事故に注意しましょう。

春先はスタッドレスとの交換時期。脱輪事故が特に起こりやすい季節です。一般的に**左側後輪が脱落**してしまう確率が高い傾向にある様です。

※そのほか、フットブレーキの踏みすぎによるフェード現象に注意し、エンジン音やタイヤの空気圧の状態にも気を配りましょう。タイヤに関しては、空気が抜けた状態がバーストの可能性が高く、最も危険です。



②子供との接触事故に注意

4～6月の春先から初夏にかけては児童との接触事故が多発する傾向にあります。平日は放課後の時間帯が最も危険で、車の陰などから飛び出してくる可能性が大。重要なのは**法定速度**を守ること。

※停車しているスクールバスのそばを通る際は徐行して安全確認が義務付けられています！



③高校生の自転車

左折時の**巻き込み**事故が多発しています。福岡県内でも死亡事故が発生しています。巻き込み事故における死亡事案の9割は8+超の車輛によるものです。

👉左折の5手順を確認しましょう



①ウィンカー▶②左に寄せる▶③左に沿って▶④徐行▶⑤左折

⇒徐行すれば左側の死角を走る自転車との速度差が生まれて、目視で捉えやすくなる。もし死角に入ったまま並走されていると見つけづらい。

●拘束時間や残業時間規制の根本的な問題⇒**過労運転防止**

「正常な運転ができないおそれがある状態」で**運転してはいけない**。かつ会社も**運転させてはならない**。事故が起きたら過労運転の有無が争点になり運転者が処罰される恐れもある。

過労運転と見なされないためには10分単位でもよいから休憩を取る、4h以上の連続運転は絶対にしないなどの対策を。



浦瀬さん、講師役ありがとうございました！



次回セミナーのお知らせ

次回の上西先生安全セミナーは
5月11日(土) 10時

より開催予定です。
事故防止委員会では引き続き事故のない運行を目指してセミナーの充実に向けた活動を行います。今後ともご協力をお願い致します。



永山専務からの挑戦状 「福岡検定」にチャレンジしてみましょう！

全問正解できるかな？？ 答えは来月

「福岡の人は福岡ば好いとる」という格言があるらしい。もっと福岡の事を皆に知って、愛してもらいたかー。今回は福岡に関するクイズを出題するけん、福岡愛と一緒に高めていこう！！

★福岡藩の初代藩主は誰でしょう？

1. 黒田長政 2. 黒田菅兵衛 3. 黒田継高 4. 黒田長博

★九州初のターミナルデパートとして開業したのはどこでしょう？

1. 大丸 2. 西武そごう 3. 井筒屋 4. 岩田屋

★福岡市が行政を開始したのはいつでしょう？

1. 明治12年 2. 明治22年 3. 大正2年 4. 昭和2年

★昭和5年、福岡で最初の空港も名前は？

1. 雁ノ巣飛行場 2. 名島飛行場 3. 板付空港 4. 席田飛行場

★現在の博多駅舎は何代目でしょう？

1. 二代目 2. 三代目 3. 四代目 4. 五代目

★福岡市地下鉄の路線にないものはどれでしょう？

1. 箱崎線 2. 中央線 3. 空港線 4. 七隈線



茨城発！ 孤独すぎるグルメ!! ⑪

弥満喜

〒319-3526
茨城県久慈郡大子町大子741

いつも長々と前置きを書いてますが今回は記事のボリュームが多くなった為省略したいと思います。←ただ思いつかっただけ・・・どうも内野です。

さて本日訪れたのは茨城県久慈郡大子町にあるお店『弥満喜(やまき)』さん。

昭和25年頃から続くという老舗で、しゃも鍋、しゃも丼など、「奥久慈しゃも」を専門に取り扱ったお店。しゃもとは、江戸時代にシャム(現在のタイ)から輸入されたニワトリの品種。原産地名であるシャムが名前の由来です。「軍鶏」と書くように、もともとは闘鶏用ニワトリであるため、気性が荒く、群れで飼うのは難しい種です。しかし、肉、卵ともに味がよいので、闘争心を抑えて繁殖力を向上させるために茨城県養鶏試験場で改良を加えられてきたのが「奥久慈しゃも」です。肉は身が締まり、歯ごたえがあり、低脂肪でヘルシーなのに、肉の旨味が濃く、煮てよし焼いてよしのお肉です。



そんな奥久慈しゃもを使った親子丼、「しゃも丼」を目指して約1時間半のドライブへLet's go! 天気も良く絶好のドライブ日和、開店の30分前にお店に到着、店前の駐車場が狭いことは調べ済みなので近くにある常陸大子駅の有料駐車場へ行ってみると蒸気機関車がお出迎え。調べてみると昭和初期に作られた門司鉄道や指宿枕崎線などで活躍していたというから驚き。



駐車して早速お店へ。並んで待機していると程なくして店内へ案内されます。もちろん今回のお目当ては親子丼こと「しゃも丼」ですが更にその上の「しゃも丼極(きわみ)」を注文!

通常のしゃも丼はもも肉、おね肉を使った親子丼ですが「しゃも丼極」はむね、もも、ささみ、手羽元、レバー、砂肝、ハツなどの珍しい部位まで使われた、まさに極みの逸品。



15分ほどでしゃも丼極が到着。蓋を開けると「はい、これ絶対美味しいやつ〜」な見た目に勝利を確信しつつ写真をパシャリ。付け合せにサラダ、茶碗蒸し、そして奥久慈しゃもの出汁スープが付いてきます。

出汁スープは塩分控えめでしゃもの出汁がしっかり効いた濃厚な味わい。それではメイン



の親子丼へ。おね肉やささみはしっとりとしていて、もも肉は弾力がありとろとろの卵との相性もバッチリ。中央の黄身を崩すとさらに濃厚になりご飯を黄色に染めていきます。他の部位もいろいろ違った味や食感が楽しめてとても美味しかったです。特にレバーと砂肝は親子丼には異色ですが、味と食感は好きでした。少々値段はお高めですが、奥久慈しゃもの様々な部位を味わえるとても美味しい親子丼に大満足でした。

仲間のいいところ広場で集まった声 【3月】

気持ち良く対応してもらい助かってます。

事務所の社員が掃除する様になった。

最近みえないなー、見えてないのか、余裕がないのか来月は注意してみたい。

波多江さん、困ったことがあるとすぐに動いてくれるなど様々な事で助かっています。

園中さんは後ろ向きな発言を全くせず、いつも前向きな姿勢です。私も見習いたいと思います。

営業の斎藤さんの諦めずに営業に打ち込むプロ意識の高さが、さすがだと思います。

関東は少ない人数の中で業務を行っているのでお互いに思いやる気持ちを持っている。

鶴川さん、様々な事でサポートしてもらってます

忙しかったり暇になったり大変ですがみんな協力して頑張っていると嬉しいです

今泉部長が外トイレが汚れているのを見ました。事務も毎日掃除されているのできれいに使おうと思いました。

佐々木さん、分からない事を聞いたならなんでもすぐに教えてもらって助かっています。

佐久間さん。難しい荷物でも何事もなく積んでくれます。

曾我部さん、配車が厳しいときなど様々な場面で助けてもらってます。

お互いを褒め合うことのできる、プラス思考で周囲のいい職場づくりを目指していきたいと思っています。

仲間のいいところ広場

SAPAのグルメ紹介

SAやPAでは近年、その地域に根差した郷土料理やB級グルメを提供するフードコートの充実が進んでいます。サービスエリアでその土地ならではのグルメを味わうことは、高速道路でのドライブにおける楽しみのひとつですね。



日本の高速道路には数々のサービスエリアが立地しており、どこでどんなグルメを食べようか悩むところです。そこで次月から全国のサービスエリアの人気グルメを記事にしたいと思うので楽しみにしておいてください。

ちなみに記者鶴川のおすすめSAPA飯は古賀SA(下り)の筑紫もちソフトクリームです。

古いモノに思うこと

実家に帰ると必ず見せてもらうものが3つある。まずは祖父の遺品である懐中時計。そして父が愛用している腕時計と万年筆だ。

懐中時計はおそらく1960年頃に製造されたもので、メンテナンスを加えられながら60年以上の時を刻んでいる。腕時計と万年筆はそれぞれ1970年代のものだ。昭和35年生まれの父が高校生の頃に購入したものだという。そのどちらも同じように幾度もの修理・調整を経て大切に使用されているが、今までにかかった費用は購入代金をとうに超えている。決して高価なものではない、国産かつ大衆向けの製品にも関わらず。

その物持ちの良さと当時の製品の頑丈さには脱帽だが、これまでの人生を共に歩んできた「戦友」を今なお元気で身に着けられる幸福は滅多に得られるものではない。刻まれた細かなキズのひとつひとつは彼らの人生を表す年輪のようなものだ。「今となってはキズが付いたいきさつを思い出すことはできないが、あの時確かに生きていた遠く切ない過去に自分を呼び戻すきっかけを与えてくれる」と父は語る。

おそらく今日も父はその「戦友」たちを大事に手入れしているだろう。そしていつかは「戦友」たちが私の手に渡る日が来る。その日から私は祖父の歴史、父の歴史、そして我が家の歴史を背負って生きていくことになるのだ。(鶴川)

☆ 今月のお誕生日 ☆

- 4月16日 園中さん
- 4月18日 山上史さん
- 4月20日 栗田さん
- 4月20日 別府さん

今月は4名の方がお誕生日を迎えられます。お誕生日おめでとうございます!

満開の桜はご覧になられたでしょうか。4月は世の中が新しく移り変わる月。ご自身や身近な方にも環境の変化が訪れたという人もいるのではないのでしょうか。それに伴い、春は別れの季節、出会いの季節でもあります。

いま一緒に暮らしている、一緒に働いている方々との縁を大切に過ごしていきたいものです。

